

研修会報告

令和5年2月1日

文責：遺伝子・染色体部門長 青山 弥生

研修会テーマ「髄膜炎診断をより迅速に～髄液パネル検査の保険適用をうけて～」

開催日時 令和5年1月28日（土）13：00～15：00

会場 Zoom ウェビナーによる Web 研修会

司会 東北大学病院病理部 千葉 美紀子

生涯教育点数 専門教科 20 点

参加者 会員参加者 28名 非会員 1名

講演1「遺伝子検査の基礎～PCRと融解曲線解析」

東北大学病院診療技術部 検査部門

真山 晃史 技師

講演2「Film Array 髄膜炎・脳炎パネルの院内導入効果～臨床検査技師の立場から～」

国立病院機構 仙台医療センター 臨床検査科

佐々木 悟 技師

講演3「髄膜炎・脳炎の臨床と遺伝子検査」

国立病院機構 仙台医療センター 脳神経内科 大友 瑞貴 先生

15：00 終了

内容

今回は髄液パネル検査が保険収載されたことを受けて、上記の内容で開催した。

真山技師には基礎公演として、film arrayの原理を解説していただいた。

佐々木技師には、院内導入の経緯、効果、運用状況、ピットフォールなど、検査室側からの話を詳細に講演いただいた。夜間、休日の対応についての質問もされたが、現状では在籍している技師の全員が操作できるようになっているとの事であった。臨床側に成功例などをうまくアピールすることも、今後の検査数増加につながるとの意見もあった。

大友先生には、臨床の立場から導入効果を講演いただいた。

神経感染症において、鑑別のために必要であること、迅速に結果がわかることが利点であるとの事であった。これまでの検査法が必要なくなるのではなく、併用することでより患者様にとって有益であるとの事であった。

すでに導入している施設も、導入を検討している施設にとっても、検査と臨床の両側からの

意見を聞くことでより理解が深まったと感じた。

今回の研修会は Zoom ウェビナーを用いた Web 研修会であり、宮城県外からの参加者が目立った。宮城県の会員が参加したいと思えるような研修会を企画し、一方的ではなく、さまざまな意見が出されるような内容を提供していきたい。